

ちゃんと見ていますか 処理委託先

価格だけで決めていませんか?

昔からの付き合いだからと
任せていませんか?



不適正処理は排出者責任を問われることも!!
そうならないために

処理先選定6箇条



理念



情報公開



サービス・技術



地元との関係



コンプライアンス



etc

処理先選定6箇条

処理委託先を思い出し、以下の項目をチェックして下さい。



理念

- 営業や各窓口の対応が丁寧で早い。
- 従業員の入れ替わりがあまりない。
- 高齢者や身障者を積極的に雇用している。
- 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が行われている。



情報公開

- ホームページや施設見学会などで自主的に情報を開示している。
- 環境報告書を発行し公表している。
- 優良性評価制度に適合している。^{注1}
- マイナスイメージについても公表している。

注1 平成23年4月より優良産廃処理事業者認定制度へ移行。



サービス・技術

- 施設見学会などの際はわかりやすく説明してくれる。
- CO2削減の取り組みをしている。
- HP・メールマガジンなどで、お客様に役立つ情報の提供を行っている。
- 独自の技術・ノウハウで安心・安全な処理を行っている。



地元との関係

- 近隣での行事やボランティア活動に積極的に参加している。
- 近隣住民の雇用を積極的に行っていている。
- 地元の方を対象にした施設見学会などを行っている。
- 地元での評判が良い。



コンプライアンス

- 環境・廃棄物関連以外の法令も遵守している。(労働法、建築基準法など)
- 契約書、許可証の更新をしている。
- マニフェストの処理・処分についての記載内容が適正である。
- 許可品目以外の取り扱いがない。



etc

- 業界団体の協会に加入している。
- 電子マニフェストを運用している。
- 派手な接待等をしていない。
- 古い許可証や賞状、ポスターなどをいつまでも飾っていない。

チェックがあまりつかない場合は より詳しく確認しましょう!

さもないと、不適正処理があった場合

排出元へ責任が問われ、

措置命令または懲役刑や罰金刑の可能性も!!

